

FM/AM ミニディスクプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



MDLP

MDX-CA790



安全のために

電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故の原因となり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

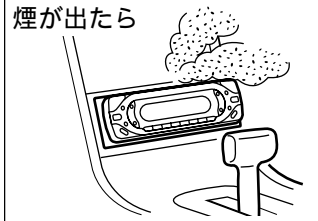
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指挟み

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

⚠ 警告・⚠ 注意	4
MDの取り扱い	6
グループ機能について	7
はじめに	8
まず、本機をリセットする	8
MD・ラジオの聞きかた	10
各部のなまえ	12
カードリモコン(別売り)の操作	14
時計を合わせる	15

MD・CD

MD/CDを聞く	16
繰り返し聞く (リピート再生)	21
曲順を変えて聞く (シャッフル再生)	22
ディスクに名前をつける (カスタムファイル —ディスクメモ)	23
ディスクを名前で探す (リスト)	25

ラジオ

放送局を自動で登録する	26
放送局を手動で登録する	28
放送局に名前をつける (ステーションメモ)	29

放送局を名前で探す (リスト)	31
--------------------------	----

サウンドの設定

DSOを設定する	32
イコライザーを使う(EQ3)	33
音のバランスを設定する (バランス)(フェーダー)	35
(ATT)	

その他の操作

音声や表示などの設定を換える	36
----------------------	----

ロータリーコマンド(別売り)の 操作	37
使用上のご注意	40
故障かな?	42
保証書とアフターサービス	46
主な仕様	47
索引	49



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する
本機の実取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

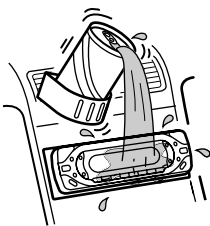


内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



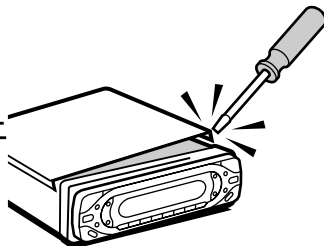
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止

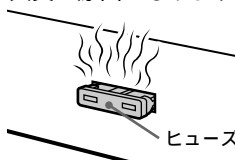


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止



ヒューズ

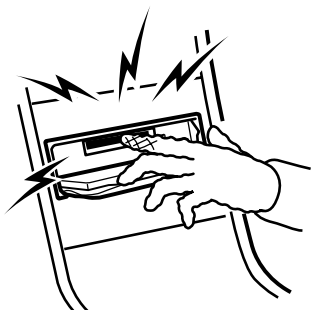


下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない
内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



指挟み



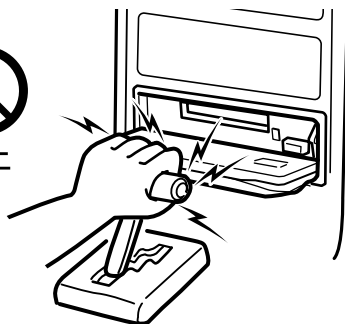
運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度にする

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

走行中はフロントパネルを開けない
車両によってはフロントパネルが開いていると運転操作の妨げになる場合があります。この場合は、ディスクの取り出しや交換は必ず車を止めて行って下さい。また、フロントパネルを閉めてから走行して下さい。



禁止



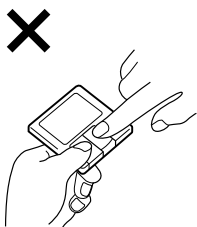
MDの取り扱い

MD自体はカートリッジに収納されていますので、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになってきました。ただし、カートリッジの汚れやそりなどが、誤動作の原因になることもあります。いつも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

良い音で聞くために車内でカップホルダーなどをお使いになるときは、不意の振動などでジュースなどがこぼれて、MDソフトにかからないように充分ご注意ください。そのままMDを再生すると故障の原因になります。

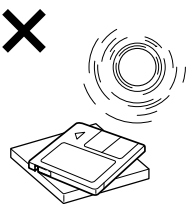


MD内部に直接触れないシャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれます。本機から取り出したときなどに万一シャッターが開いてしまった場合は、すぐに閉めてください。



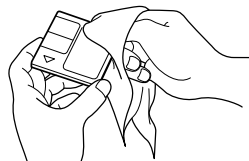
保存

直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。特に夏季、直射日光下で窓を閉め切った車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



お手入れ

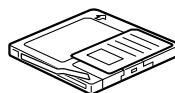
カートリッジ表面についたホコリやゴミなどを乾いた布でふき取ってください。



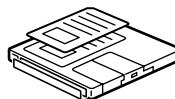
ラベルを貼るときのご注意

ラベルは、カートリッジに正しく貼られていないと、MDが本機から取り出せなくなることがあります。

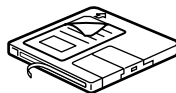
- 指定の場所に貼ってください。



- 重ねて貼らないでください。



- ラベルがめくれたり、浮いているときは新しいラベルに貼り換えてください。



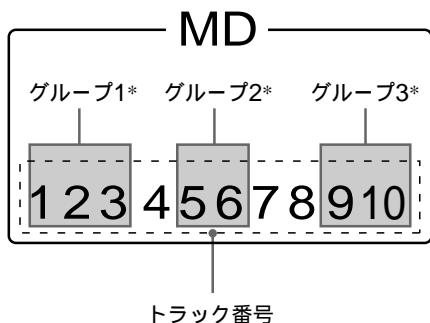
「グループ機能」について

グループ機能は多数のトラックを録音したものを再生するときや、MDLP(LP2/LP4)モード録音したものを再生するときなどに便利です。

グループ設定についてのご注意

- 本機はMDの再生のみご利用になれます。MDの録音やグループの設定については、お手持ちのMDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 1つのMDの中で同じグループ名を使って登録することができます。
- グループ番号は最大で99までご利用になれますが、実際に登録可能なグループの数はMDレコーダーの機能により変わります。
- お手持ちのMDレコーダーによってはグループ機能をご利用になれない場合があります。

グループ設定されているMD



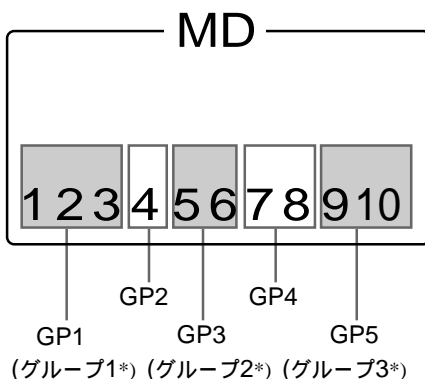
* MDレコーダーで設定されたグループ

本機にグループ設定されたMDを挿入すると、自動的に再生が始まり、曲順に演奏されます。

本機による仮想グループ設定

本機はグループ設定されたグループの間にある1曲または、数曲を「GP」(グループ)として認識します。したがって、MDレコーダーによってグループ設定されたグループと同様にグループ設定されていない曲にも「GP」番号が割り当てられます。グループ設定されたMDを本機に挿入して再生すると、「GP」番号が表示窓に点灯します。

グループ設定のあるMDと割り当てられた「GP」番号



* MDレコーダーで設定されたグループ

グループ機能の使いかたについては、「MD/CDを聞く」、「繰り返し聞く(リピート再生)」、「曲順を変えて聞く(シャッフル再生)」を、ご覧下さい。

ご注意

グループ機能は、本機にグループ設定されたMDを挿入、再生された時のみご利用になれます。

はじめに

- 本機はMDとラジオに対応。
- MP3ファイル再生コントロール対応(別売りのソニー製MP3対応CDチェンジャー接続時のみ)
- 独自のバーチャル3D技術で音像を前方定位させるとともに、クリアな音質を実現するDSO(ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー)機能搭載。
- 好みの音質に調整可能な3バンドイコライザー(EQ3)機能搭載。
- 運転感覚で操作できるロータリーコマンド(別売り)に対応。

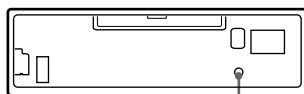
この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りのカードリモコンおよび別売りのソニー製ロータリーコマンド、ソニー製MD/CDチェンジャーを接続した場合の操作方法についても説明しています。

まず、本機をリセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したとき、接続を変えたときは、リセットボタンを押す必要があります。

まずフロントパネルを取り外し(9ページ)、リセットボタンをつま楊枝の先などで押してください。

ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。



リセットボタン

ご注意

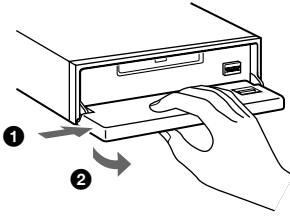
- リセットボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えることがあります。その場合は、登録し直してください。
- リセットボタンを押してから約10秒間、本機は初期設定動作を行います。その間にMDを入れると正常にリセットされないことがありますので、初期設定動作中はMDを入れないでください。
- リセットボタンを押したり、OFFボタンを押すと、自動的にデモンストレーションが表示されます。デモンストレーションを表示したくない場合は、M.DSPL(モーションディスプレイ)をOFFにしてください。(36ページ)

フロントパネルについて

本機のフロントパネルは取り外すことができます。

取り外しかた

必ず、OFFボタンを押して電源を切ってから、OPENボタンを押してフロントパネルを開けてください。フロントパネルを右に押ししながら手前に引くと外れます。

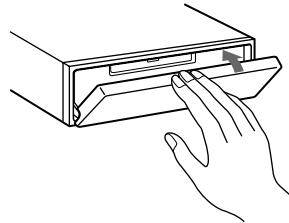
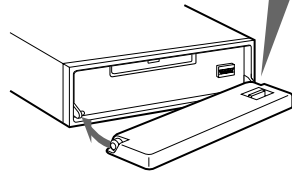
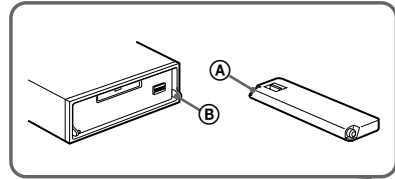


ご注意

- 取り外したフロントパネルは直射日光の当たる高温のところ、湿度の高いところなどには置かないでください。変形するおそれがあります。
- フロントパネルの表示窓や挿入口の上を押したり、強い力をあたえないでください。変形による故障の原因となります。
- フロントパネルを取り外して保管するときは、必ずケース(付属)に入れてください。そのまま放置すると、落下による破損や故障およびキズになるおそれがあります。

取り付けかた

フロントパネルの④部分と本体の③部分を合わせて、軽く左側に押し込みながら取り付けます。

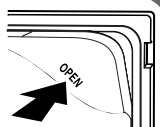


MD・ラジオの聞きかた

MDを聞く

1 パネルを開ける

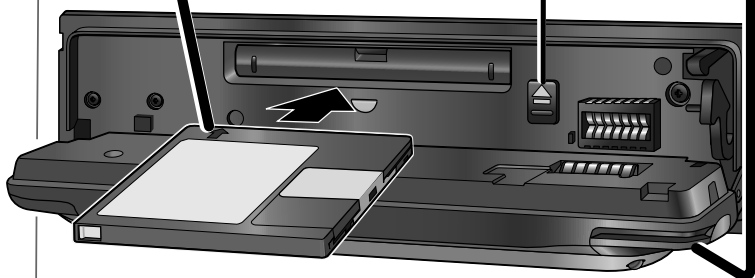
OPENボタンを押します。



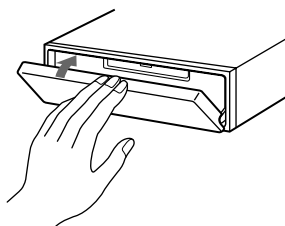
2 MDを入れる

ラベル面を上にして入れます。
自動的に再生が始まります。

MDを取り出す



3 パネルを手で閉める



ディスクが入っているときは
SOURCEボタンを押して「MD」表示に
すると再生が始まります。

表示を切り換えるには
DSPLボタンを押します。

止める / 電源を切るには
OFFボタンを押します。

聞きたいところを探す(手動サーチ)
SEEKボタンを押し続け、聞きたいところで
離します。

先に進める



前に戻す

曲の頭出しをする
(自動選曲センサー)

SEEKボタンをとばしたい曲の数だけ短く押
します。

次の曲へ進む



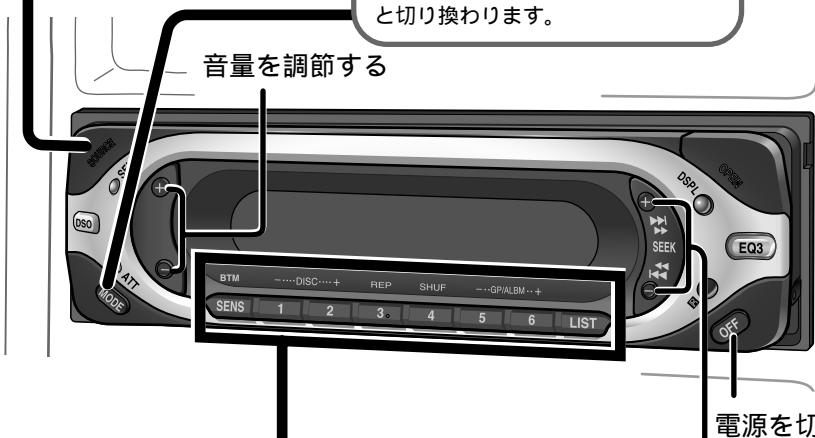
曲の頭や前の曲へ戻す

ラジオを聞く

1 ラジオ受信にする

2 聞きたいバンドを選ぶ

押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 → AM2
と切り換わります。



3 聞きたい放送局を選ぶ

放送局を数字ボタンに登録してあるときに選ぶことができます。
くわしくは26～29ページをご覧ください。

自動選局で受信する(自動選局)

SEEKボタンを聞きたい放送局を受信するまで繰り返し短く押します。

次の放送局を探す



前の放送局を探す

希望の放送局を受信する(手動選局)

SEEKボタンを押し続け、聞きたい放送局の周波数になったところで離します。

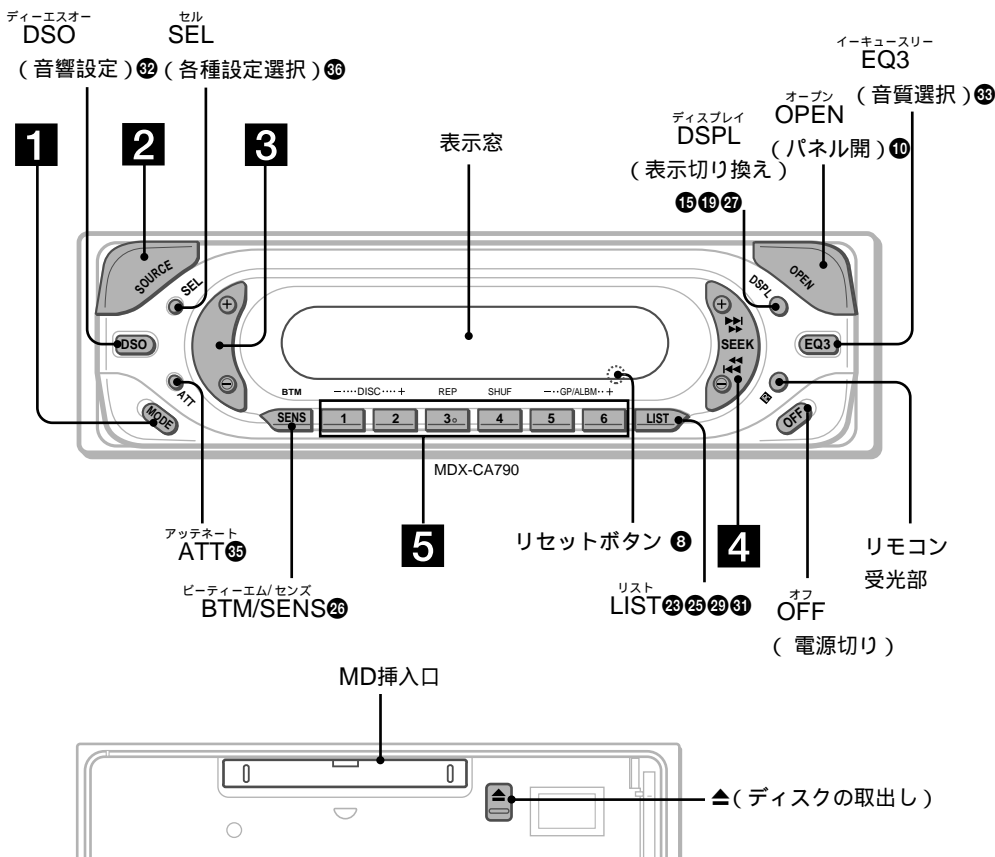
高い周波数の放送局を探す



低い周波数の放送局を探す

各部のなまえ

くわしい説明は●内のページをご覧ください。



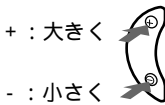
ACCポジションのないお車のときは、OFFボタンを押し続けて表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

1 モード MODE

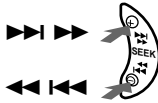
ラジオ	FM1/FM2/AM1/AM2の切り換え ⑪ ⑲ ⑳
MD	MD機器の選択 ⑯
CD*1	CD機器の選択 ⑯


2 ソース SOURCE (ラジオ/CD*1/MD (MS*2) 切り換え)

3 ボリューム Volume (音量調節) ボタン



4 シーク SEEK (頭出し/ラジオ選局)



		
ラジオ	周波数の高い放送局へ (押し続ける) ⑪ ⑲ ⑳	周波数の低い放送局へ (押し続ける) ⑪ ⑲ ⑳
MD/CD*1	次の曲へ 早送り (押し続ける) ⑩ ⑰	前の曲へ 早戻し (押し続ける) ⑩ ⑰

5 数字 (1~6) ボタン

ラジオ 放送局の登録 / 選択 ⑲ ⑳

MD/	1: ディスク - ボタン ⑰
CD*1	2: ディスク + ボタン ⑰
	3: リピート REP ボタン ㉑
	4: シャッフル SHUF ボタン ㉒
	5: グループ/アルバム GP*3/ALBM*4 - ボタン ⑰
	6: グループ/アルバム GP*3/ALBM*4 + ボタン ⑰

*1 別売りのMD/CD機器 (ソニー製) が接続されているとき

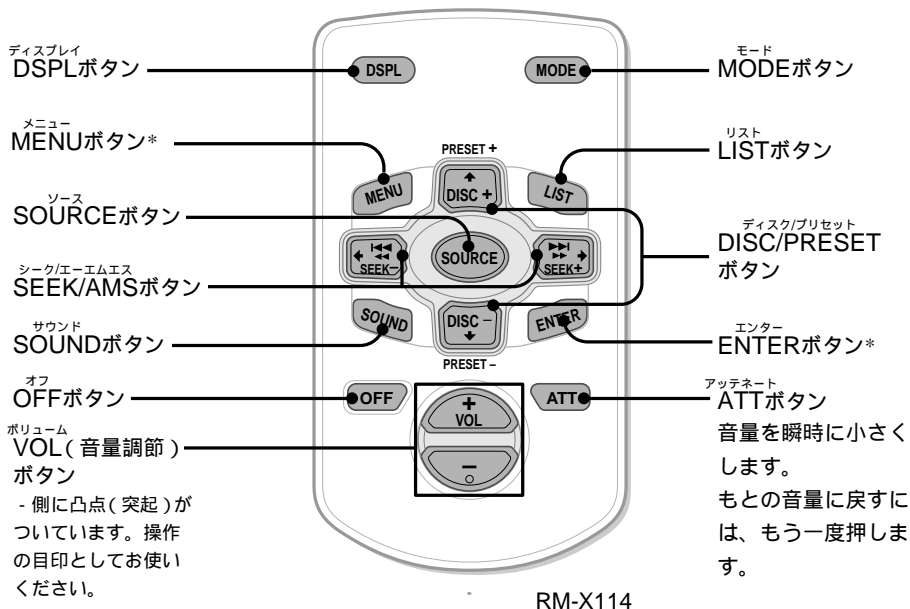
*2 MS : MG-MSシステムアッププレーヤMGS-X1 本機はMGS-X1をMDとして認識します。

*3 グループ設定されたMDを本機に挿入して再生したとき

*4 別売りのMP3対応CDチェンジャー (ソニー製) が接続され、MP3ファイル再生中のとき

カードリモコン(別売り)の操作

本体のボタンと同じ操作は、カードリモコンで行うことができます。



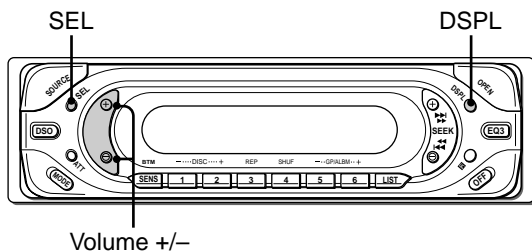
*本機では使用しません

ご注意

本体またはカードリモコンのOFFボタンを押し続けて表示を消してある場合は、カードリモコンで本機を操作できません。操作できるようにするためには、一度本体でラジオを受信するなどの操作を行ってからお使いください。

時計を合わせる

本機は12時間表示です。



ご注意

ACCポジションのないお車のときは、SOURCEボタンを押すかディスクを挿入して本機の電源を入れてから、時計を設定してください。

1 DSPLボタンを2秒間押す。



「時」が点滅します。

- 1 Volumeボタンの+または-を押して「時」を合わせる。
- 2 SELボタンを押す。
「分」が点滅します。
- 3 Volumeボタンの+または-を押して「分」を合わせる。

2 DSPLボタンを押す。



設定時刻が登録され、通常の画面に戻ります。

MD/CDを聞く

本機の他に別売りのMD機器またはソニー製MP3対応CD機器を接続して、CD、MP3ファイル、MDを再生できます。

CD TEXT対応のCD機器にてCD TEXTディスクを再生中に、その文字情報（アルバム名、アーティスト名、曲名など）を表示することができます。

CD TEXTとは

アルバム名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称です。

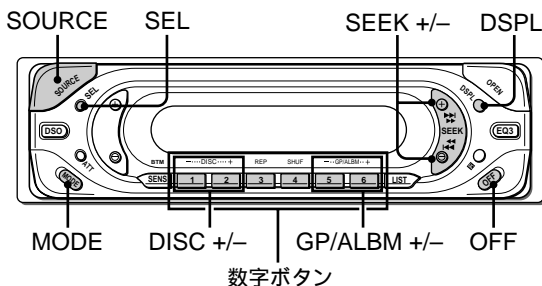
- *1 別売りのソニー製MD/CDチェンジャーが接続されていて、チェンジャー内のディスクを再生中の場合のみ表示します。
- *2 MP3再生時のみ表示します。ID3タグ表示中はアルバム番号が出ません。
- *3 別売りのソニー製MD/CD機器が接続されている場合のみ表示します。
- *4 CD TEXT、MP3、MD再生時のみ表示します。
- *5 グループ設定されたMDを本機に挿入して再生した時のみ表示します。

ご注意

MDLP録音したMDを再生するときは、ソニー製MDLP対応機器をお使いください。MDLP未対応のMDチェンジャーなどで再生することはできません。

ちょっと一言

ディスクの最後まで再生すると、最初の曲に戻ります。別売りのMD/CD機器を接続している場合は、同じソースのMD/CD機器内の次のディスクを再生します。

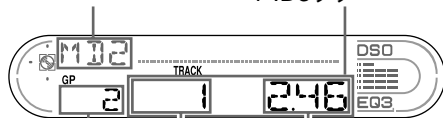


聞きたい機器を選ぶ

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押し続けて「MD」または「CD*1」を選ぶ。

ディスク名/アルバム名*2
/グループ名*5/曲名*4
/ID3タグ*2

MD/CDユニット番号*3



ディスク番号*1 / トラック 演奏時間
アルバム番号*2 / 番号
GP番号*5

- 2 再生中にMODEボタンを繰り返し押し続けて、聞きたいMD/CD機器（本機または別売りのソニー製MD/CD機器）を選ぶ。

MDの場合

MD1（本機）→ MD2（MD機器1）*3 →
MD3（MD機器2）*3

CDの場合*3

CD1（CD機器1）→ CD2（CD機器2）→
CD3（CD機器3）

再生をやめるには

別のソースに切り換えるか、▲またはOFFボタンを押します。

グループ設定されたMD再生時のご注意

グループ設定されたMDを本機に挿入して再生した時のみ表示します。

MP3再生時のご注意

- 別売りのソニー製MP3対応CDチェンジャーをご使用ください。
- MP3対応CDチェンジャーはMP3再生時、初めにディスク内の情報(アルバム、トラック数など)を読み取るため、ファイル構造が複雑な場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。読み取り中は本機の表示窓に「READ」と表示されますので、完全に表示が消え、自動で再生が始まるまでお待ちください。

ちょっと一言

- DISC(-)ボタンまたはDISC(+)ボタンを押し続けると、ディスクが連続して送れます。
- GP/ALBM +/- ボタンを押し続けると、グループまたはアルバムが連続して送れます。

グループ設定されたMDのGP(グループ)を選ぶには

グループ設定されたMDを本機に挿入して再生中にGP-(数字5)ボタンまたはGP+(数字6)ボタンを押す。

短く押すたびに、前のGPまたは次のGPに1つずつ切り換わります

MD/CDチェンジャー内の聞きたいディスクを選ぶには

MD/CDチェンジャー内のディスクを再生中にDISC-(数字1)ボタンまたはDISC+(数字2)ボタンを押す。

短く押すたびに、次のディスクまたは前のディスクに1枚ずつ切り換わります。

MP3対応CDチェンジャー内の聞きたいアルバムを選ぶには

聞きたいアルバムの入ったディスクを再生中に、ALBM-(数字5)ボタンまたはALBM+(数字6)ボタンを押す。

短く押すたびに、次のアルバムまたは前のアルバムに1つずつ切り換わります。

聞きたい曲を選ぶには





再生中にSEEKボタンの+または-を短く押す。

短く押すたびに、次の曲または前の曲に1曲ずつ切り換わります。

曲の聞きたいところにするには

再生中にSEEKボタンの+または-を押し続けて、聞きたいところで離す。

ディスクの先頭または終わりに来ると

「 」または「 」が表示され、それ以上前または先に進めることはできません。

次のページへつづく

MD/CDを聞く(つづき)

MG-MSシステムアッププレーヤー MGS-X1(別売り)を再生するには

- 1 SOURCEボタンを押して「MD*」を選ぶ。
- 2 MODEボタンを押して「MS」を選ぶ。

例)MGS-X1を入力端子2に接続した場合、MODEボタンを押すごとに表示は次のように切り換わります。

MD1(本機)→MS(MGS-X1)→
MD3(MD機器1)→...→MD1→

* 本機はMGS-X1を「MD」として認識します。

表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを繰り返し押し、表示を切り換えます。

ちょっと一言

- 本機では、MDやCD TEXT、MP3ファイルに記録されているディスク/アーティスト名、グループ名、アルバム名、曲名、ID3タグなどはアルファベットと数字、記号のみ表示できます。
- 漢字、ひらがなのみ入力されたディスクを再生した場合は正しく表示されません。
- 本機で表示できない文字や記号は「*」に置き換わります。
- CD TEXTまたはMP3ファイルに記録されていても、曲ごとのアーティスト名は表示されません。
- 「オートスクロールの設定」(20ページ)で「A.SCRLLON」にしておくと、ディスクや曲が変わったときに自動的にスクロール表示させることができます。
- MP3ファイルのID3タグは「曲名/アーティスト名/アルバム名」の順に表示します。

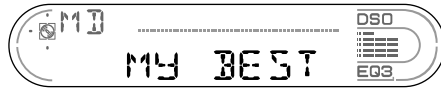
ご注意

- CDチェンジャー内のCDの曲名を表示することができるのはMP3対応機種でMP3ファイル再生時、またはCD TEXT対応機種でCD TEXTディスク再生時のみです。
- CD TEXTまたはID3タグで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しなかったりスクロールしないことがあります。



ディスク名/アーティスト名*1*2

↓
グループ設定されたMD再生中/MP3ファイル再生中*4



グループ名*3/アルバム名*4 (MP3のみ)

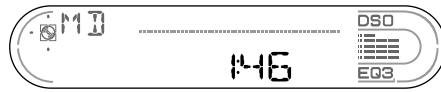


曲名*1 (MD、CD TEXT、MP3のみ)

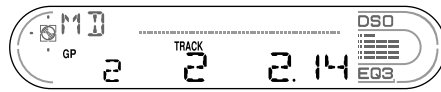
↓
MP3ファイル再生中



ID3タグ*5 (MP3のみ)



時計



曲番号と再生経過時間

- *1 ディスク名、アルバム名、曲名がないときは「NO NAME」と一瞬表示された後、再生経過時間表示になります。
- *2 CD TEXTにディスクメモ機能(23ページ)で名前をつけてあるときは、ディスクメモの名前を表示します。
- *3 グループ設定されたMDを本機に挿入して再生した時のみ表示します。
- *4 別売りのソニー製MP3対応CD機器が接続されている場合のみ表示します。
- *5 MP3にID3タグがないときは「NO ID3」と一瞬表示された後、再生経過時間表示になります。

次のページへつづく

MD/CDを聞く(つづき)

ご注意

- スクロールするのはDSPLボタンで選んだ表示のみです。
- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、全ての文字を表示しなかったり、スクロールしないことがあります。

長い名前(9文字以上)を見るには

CD TEXT、MP3またはMD再生中(名前を表示中)に、SELボタンと数字ボタン3を同時に押します(36ページ)

MDLP(MDロングプレイ)の再生表示について

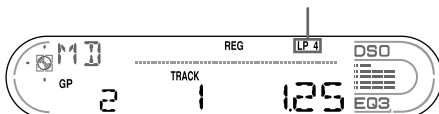
録音モードによりMD再生時の表示が換わります。

MDLP再生表示

LP2 LP2ステレオ再生時

LP4 LP4ステレオ再生時

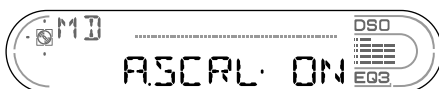
表示なし ... ステレオ/モノラル再生時



オートスクロールの設定

MP3、CD TEXT対応のCDまたはMDを再生している場合は、ディスク、アルバムまたは曲が切り換わったとき、SOURCEをCDまたはMDにしたときに、この設定を「ON」にしておくと9文字以上のディスク名、アルバム名、曲名およびID3タグを自動的にスクロール表示させることができます。

CDまたはMDの再生中にSELボタンと数字ボタン3を同時に押す。



約2秒後に、通常の画面が表示されます。

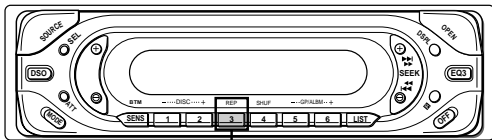
オートスクロールを解除するには

SELボタンと数字ボタン3を同時に押します。

繰り返し聞く

(リピート再生)

再生中の曲のみ、グループ内の全曲、別売りのソニー製チェンジャー内のアルバムの全曲またはディスク内の全曲を繰り返し聞くことができます。



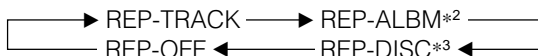
REP

MDまたはCDを再生中、REPボタンを押して、「REP」を点灯させる。

REPボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。MDを本機に挿入して、再生したとき



MD/MP3対応CDチェンジャー内のディスクを再生したとき



- 再生中の曲を繰り返す 「REP-TRACK」にする。
- 再生中のグループ内の曲を繰り返す
..... 「REP-GP」*1にする。
- 再生中のアルバム内の曲を繰り返す
..... 「REP-ALBM」*2にする。
- 再生しているディスクを繰り返す
..... 「REP-DISC」*3にする。

*1グループ設定されたMDを本機に挿入して再生した時のみ表示します。

*2ソニー製MP3対応CDチェンジャー接続時のみ表示されます。

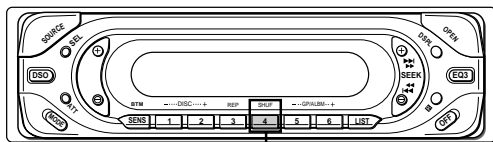
*3ソニー製CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

リピート再生をやめるには

REPボタンを繰り返し押して「REP-OFF」を選びます。

曲順を変えて 聞く

(シャッフル再生)



再生中のグループ、アルバム内の全曲、ディスク内の全曲またはチェンジャー内の全ディスクの曲順を変えて聞くことができます。

ご注意

「SHUF-ALL」でCDとMDを混ぜてシャッフル再生することはできません。

ちょっと一言

「SHUF-CHGR」「SHUF-ALL」では、同じ曲が2度以上再生されることがあります。

MDまたはCDの再生中、SHUFボタンを押して、「SHUF」を点滅させる。

SHUFボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。

MDを本機に挿入して再生したとき



MD/MP3対応CDチェンジャーを接続したとき



- 再生しているグループ内の全曲を順不同に再生するには
..... 「SHUF-GP」*1にする。
- 再生しているアルバム内の全曲を順不同に再生するには
..... 「SHUF-ALBM」*2にする。
- 再生しているディスクの全曲を順不同に再生するには
..... 「SHUF-DISC」にする。
- 再生しているチェンジャー内の全ディスクを順不同に再生するには
..... 「SHUF-CHGR」*3にする。
- 再生しているソース(MDまたはCD)のすべての機器の全ディスクを順不同に再生するには
..... 「SHUF-ALL」*4にする。

*1グループ設定されたMDを本機に挿入して再生した時のみ表示します。

*2ソニー製MP3対応CDチェンジャー接続時のみ表示されます。

*3ソニー製MD/CDチェンジャー接続時のみ表示されます。

*4ソニー製MDチェンジャー1台以上または、CDチェンジャー2台以上接続時のみ表示されます。

シャッフル再生をやめるには

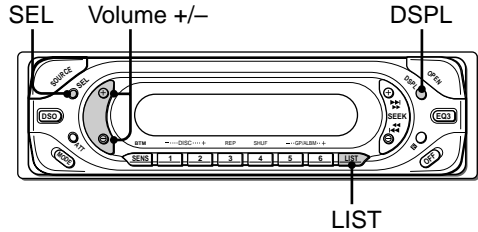
SHUFボタンを押して「SHUF-OFF」を選びます。

ディスクに名前をつける

(カスタムファイル —ディスクメモ)

カスタムファイルとは？

CDソフトのタイトル名を登録・表示する機能です。別売りのカスタムファイル対応のソニー製CDチェンジャーを接続すると、CDに8文字までの名前をつけられ、ディスクメモやリスト機能を楽しむことができます。



ご注意

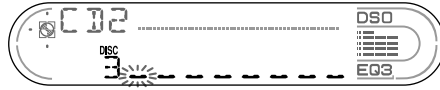
CDの名前は、カスタムファイル対応のCDチェンジャーに登録されます。カスタムファイル非対応のCDチェンジャーを接続した場合、ディスクメモ、リスト機能を操作することはできません。

ちょっと一言

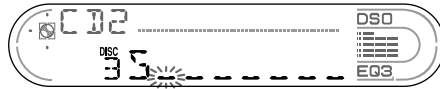
- 手順3でVolumeボタンの+側を押すごとに
A ↔ B ↔ C ↔ ... Z
↔ 0 ↔ 1 ↔ 2 ↔ ... 9
↔ + ↔ - ↔ * ↔ /
↔ \ ↔ ← ↔ → ↔
_ ↔ A
と換わります。
- アルファベットの小文字とカナは使用できません。
- 文字をあげたいときは、「_」を入力します。
- 文字入力を間違えたときは、SELボタンを繰り返し押し続けて修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れます。

1 名前をつけたいCDを再生する。

2 LISTボタンを2秒以上押し続ける。



3 Volumeボタンの+または-を押して入力する文字を選び、SELボタンを押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けてSELボタンを押します。

4 手順3を繰り返して、名前を入力し終わったらLISTボタンを2秒以上押し続ける。

通常の画面が表示されます。

[次のページへつづく](#)

ディスクに名前をつける(つづき)

ご注意

- 手順3では、CDチェンジャーのメモリーに保存されているすべてのディスクの名前が表示されます。
- 名前の消去は、名前が登録されているCDチェンジャーでCDを再生しないとできません。
- 「名前を消去するには」で消したい名前が見つからないときは、他のCDチェンジャーでCDを再生してください。

ちょっと一言

「ディスクに名前をつける」(23ページ)の手順3で、すべての文字に「_」を入力して名前を消すこともできます。

名前を消去するには

- 1 CDチェンジャー内のCDを再生中にLISTボタンを2秒以上押し続ける。
- 2 DSPLボタンを2秒以上押し続ける。
- 3 Volumeボタンの+または-を押して、消去するディスクの名前を選ぶ。



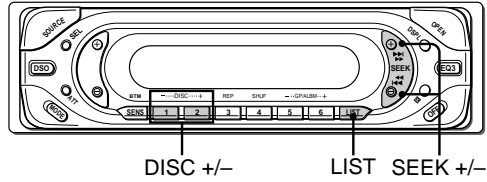
- 4 SELボタンを2秒以上押し続ける。
選択したディスクの名前が消去されます。
ほかのディスクの名前を消すときは手順3~4を繰り返す。
- 5 LISTボタンを2秒以上押し続ける。
通常の画面が表示されます。

ディスクを名前 で探す (リスト)

次の場合に名前を見ながら好きなディスクを選ぶことができます。

- 別売りのCD TEXT対応ソニー製CDチェンジャーでCD TEXTディスクを再生する場合
- 別売りのカスタムファイル対応ソニー製CDチェンジャーでCDを再生する場合*
- 別売りのMP3対応ソニー製CDチェンジャーでMP3ファイルを再生する場合
- 別売りのソニー製MDチェンジャーで名前の記録されているMDを再生する場合

* ディスクメモ機能(23ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。



ご注意

- ディスク名のリスト画面には、次の表示が出ることがあります。
 - 「NO DISC」: ディスクが入っていない。
 - 「NO NAME」:
 - 名前をつけていない。
 - CD TEXT対応の機器でCD TEXTでないCDを再生したとき。
 - 「NOT READ」: ディスク情報を読み込んでいない。
- CD TEXTで極端に文字数が多い場合、すべての文字を表示しないことがあります。
- ロータリーコマンド(別売り)では操作できません。

ちょっと一言

5秒以上操作しないと通常の画面に戻ります。

1 ディスクを再生中にLISTボタンを押す。

ディスク名のリストが表示されます。



2 LISTボタンを繰り返し押しして聞きたいディスク名を表示させる。

3 SEEKボタンの+または-を押す。

再生が始まります。

放送局を自動で登録する

受信状態の良い放送局を自動的に登録することができます。「FM1」, 「FM2」, 「AM1」, 「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ登録できます。

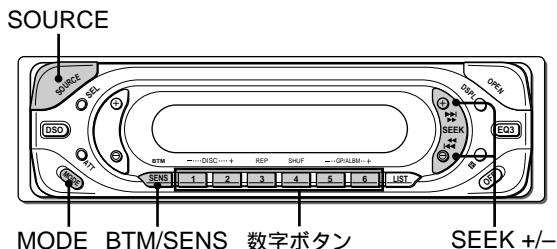
ちょっと一言

手順2でMODEボタンを押すごとに

FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1
と切り換わります。

ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降のプリセットチャンネルに放送局が登録されます。



1 SOURCEボタンを押してラジオ受信にする。

2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。

3 SENS (BTM) ボタンを2秒以上押す。

「BTM」(ベストチューニングメモリー) が点灯表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に登録されます。

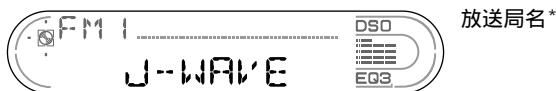
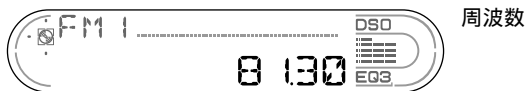
登録が終了と通常の表示に戻ります。

登録した放送局を聞くには

ラジオ受信中に数字ボタンを押して聞きたい放送局を選ぶ。

表示窓の見かた

ラジオ受信中にDSPLボタンを繰り返し押し、表示を切り換えます。



* 名前がついている場合のみ表示します。名前の登録のしかたについてくわしくは、29ページをご覧ください。

ちょっと一言

SEEKボタンの+または-を押し続けて、聞きたい放送局の周波数に近付いたところで一度離します。さらに繰り返し短く押していくと0.1MHz (または9kHz)ごとに送れません。

旅先などで、登録した放送局が受信できないときは

ラジオ受信中にSEEKボタンの+または-を押して離します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまでSEEKボタンの+または-を押し続けます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。ラジオ受信中にSENSボタンを繰り返し押し、**「LOCAL-ON」**を選びます。

ふつうの受信に戻すには

SENSボタンを繰り返し押し、LOCALを解除します。

ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

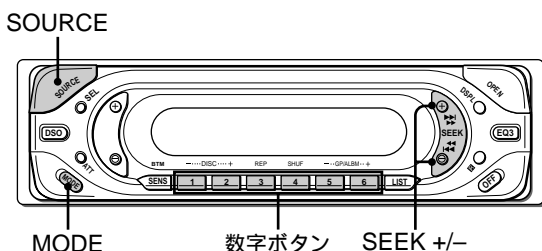
FM受信中に、SENSボタンを繰り返し押し、**「MONO-ON」**を選びます。

ふつうの受信に戻すには

SENSボタンを繰り返し押し、**「MONO-OFF」**を選びます。

放送局を手動で登録する

好みの放送局を手動で登録することができます。



ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えてしまいます。

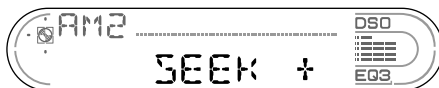
ちょっと一言

- 手順2でMODEボタンを押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1
と切り換わります。
- SEEKボタンの+または-を押し続けて聞きたい放送局の周波数に近付いたところで、一度指を離します。さらに繰り返し短く押していくと0.1MHz(または9kHz)ごとに送れます。
- 「FM1」、「FM2」、「AM1」および「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ設定できます。

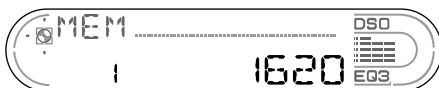
1 SOURCEボタンを押してラジオ受信にする。

2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。

- 3
- A 聞きたい放送局の周波数がわかっているとき
その放送局の周波数になるまで、SEEKボタンの+または-を押し続ける。
 - B 聞きたい放送局の周波数がわからないとき
SEEKボタンの+または-を押して離す。
自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。
聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。



4 登録したい数字ボタンを「MEM」が表示されるまで2秒以上押し続ける。

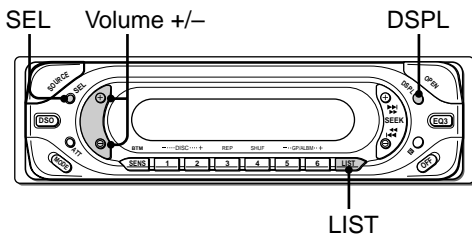


押した数字ボタン番号が表示され、そのボタンに選んだ放送局が登録されます。

放送局に名前をつける

(ステーションメモ)

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。最大62の放送局に、それぞれ8文字までの名前をつけられます。

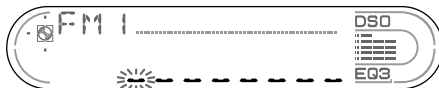


ちょっと一言

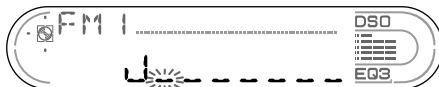
- 手順3でVolumeボタンの+を押すごとに
A ↔ B ↔ C ↔ ... Z
↔ 0 ↔ 1 ↔ 2 ↔ ... 9
↔ + ↔ - ↔ * ↔ /
↔ \ ↔ ↔ ↔ ↔ . ↔
_ ↔ A
と換わります。
- アルファベットの小文字とカナは使用できません。
- 文字をあげたいときは、「_」を入力します。
- 文字入力を間違えたときは、SELボタンを繰り返し押し続けて修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。
- メモリーがいっぱいになると「MEM FULL」と表示し、それ以上放送局名をつけることができません。

1 名前をつけたい放送局を受信する。

2 LISTボタンを2秒以上押し続ける。



3 Volumeボタンの+または-を押して入力する文字を選び、SELボタンを押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けてSELボタンを押す。

4 手順3を繰り返して、名前を入力し終わったらLISTボタンを2秒以上押し続ける。

通常の画面が表示されます。

ちょっと一言

- 「放送局に名前をつける」(29ページ)の手順3で、すべての文字に「_」を入力して名前を消すこともできます。
- 放送局名がすべて消去された場合は、手順4で「NO DATA」と表示します。

放送局の名前を消去する

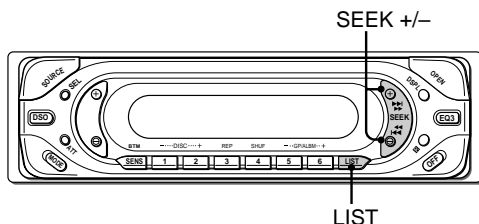
- 1 ラジオ受信中にLISTボタンを2秒以上押し続ける。
- 2 DSPLボタンを2秒以上押し続ける。
- 3 Volumeボタンの+または-を押して、消去する放送局名を選ぶ。



- 4 SELボタンを2秒以上押し続ける。
選択した放送局名が消去されます。
その他の放送局名を消去するには、手順3～4を繰り返す。
 - 5 LISTボタンを2秒以上押し続ける。
通常の画面が表示されます。
-

放送局を名前で 探す (リスト)

放送局に名前をつけておくと、名前を見ながら放送局を探すことができます。放送局に名前をつけるときは、29ページをご覧ください。



ご注意

ロータリーコマンダー(別売り)では操作できません。

ちょっと一言

5秒以上操作をしないと、通常の画面に戻ります。

- 1 ラジオ受信中にLISTボタンを押す。
プリセット局のリストが表示されます。

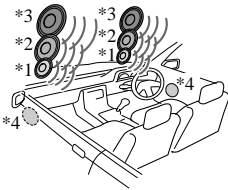


- 2 LISTボタンを繰り返し押して、放送局を選ぶ。
- 3 SEEKボタンの+または-を押す。
選局が終了すると通常の画面が表示されます。

DSOを設定する

スピーカーがドアの下部に設定されている場合は音が足元からこもって聞こえてきたり、左右の音が干渉して濁りがちです。そこでDSO(ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー)機能により、あたかもダッシュボード上にスピーカー(バーチャルスピーカー)があるかのようにサウンドが鳴り響いてくる音場感を楽しめます。

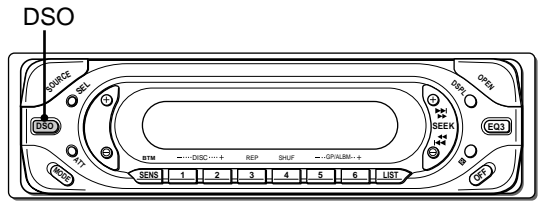
バーチャルスピーカーのイメージ



- *1 DSO-1
- *2 DSO-2
- *3 DSO-3
- *4 DSO-OFF

ちょっと一言

FM放送が聞きにくいときは、DSO設定を「OFF」にすると聞きやすくなります。



- 1 設定するソース(MD、CD、ラジオなど)を再生 / 受信する。
- 2 DSOボタンを繰り返し押しして、DSOモードを選ぶ。



DSOボタンを押すごとにDSOモードが切り換わります。

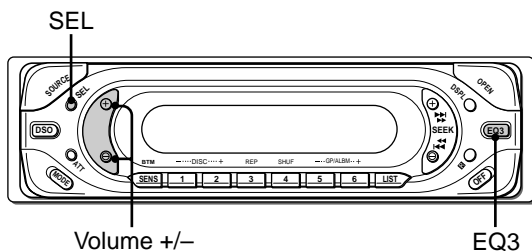
約1秒後に、通常の画面が表示されます。

DSOを解除するには

設定の手順2で「OFF」を選びます。

イコライザーを使う (EQ3)

本機には音楽のジャンルに合わせた7種類のイコライザーカーブが用意されています。また、それらにお好みの変更を加えたイコライザーカーブを登録できます。



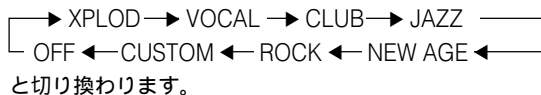
ちょっと一言

イコライザー設定は各ソースごとに記憶されます。

イコライザーカーブを選ぶ

- 1 設定するソース(MD、CD、ラジオ)を再生 / 受信する。
- 2 EQ3ボタンを押してイコライザーカーブを選ぶ。

押すごとに



イコライザーを解除するには
手順2で「OFF」を選びます。

ご注意

EQ3 OFFでは、イコライザカーブの調節はできません。

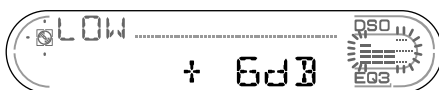
ちょっと一言

- 3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。
- レベルの調節可能範囲は $\pm 10\text{dB}$ です。

好きなイコライザカーブを登録する

- 1 設定するソース(MD、CD、ラジオなど)を再生/受信する。
- 2 EQ3ボタンを押してイコライザカーブを選ぶ。
- 3 イコライザカーブを調節する。

- 1 SELボタンを繰り返し押しして音域を選ぶ。
押すごとに
LOW → MID → HI → (BAL → FAD)
と切り換わります。
- 2 Volumeボタンの+または-を押してレベルを調節する。

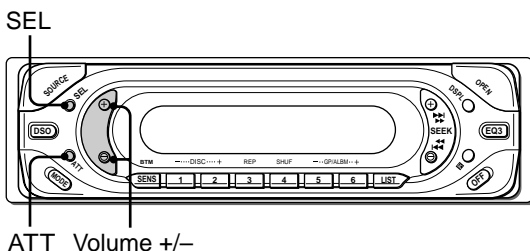


- 3 手順①と②を繰り返して、イコライザカーブを調節する。

各プリセットを初期設定(工場出荷状態)にするには設定の手順①または②でSELボタンを2秒以上押し続けます。

音のバランスを設定する

(バランス)(フェーダー)
(ATT)



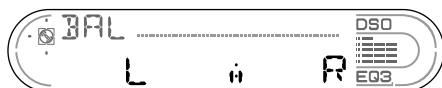
ちょっと一言

- SOUNDボタンを押すごとに
LOW* → MID* → HI* → BAL → FAD
と切り換わります。
* EQ3 OFFでは表示されません。
- 3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

出力バランスを調節する

- 1 SELボタンを繰り返し押し、「BAL」または、「FAD」にする。

バランス(BAL)の設定表示



BAL:左右のスピーカーバランス
FAD:前後のスピーカーバランス

- 2 Volumeボタンの+または-を押して設定を調節する。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

ちょっと一言

本機のナビ用ATT入力端子とソニー製カーナビシステムとを接続していると、カーナビシステムの設定により、音声案内時、自動的にカーステレオの音量が下がります。(ナビATT機能)

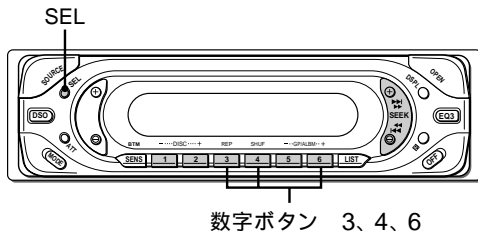
音量を瞬時に小さくする

ATTボタンを押す。

「ATT-ON」と表示され、自動的に音量を下げます。

もとの音量に戻すには、ATTボタンをもう一度押します。
「ATT-OFF」と表示され、もとの音量に戻ります。

音声や表示などの設定を換える



ご注意

表示項目は選択されているソースにより異なります。

内蔵アンプを使用せず、別売りのアンプを接続した場合は「ピッ」という音は出ません。

設定の種類	設定内容
「A.SCRL」*1	MDまたはCD TEXT対応のディスク再生時、表示を自動的にスクロールさせる。(20ページ)
「M.DSPL」	モーションディスプレイの設定をする。 「1」 → 本機の電源ON時にデコレ-ションラインを表示し、電源OFF時にデモディスプレイを表示する。 「2」 → 本機の電源ON時にデコレ-ションラインを表示し、電源OFF時にデモディスプレイを表示しない。 「OFF」 → 本機の電源ON時にデコレ-ションラインは表示せず、電源OFF時にデモディスプレイを表示しない。
「BEEP」*2	操作ボタンを押したときの「ピッ」という音をON/OFFする。

*1 MDまたはCD TEXT対応のディスクを再生中の場合のみ表示します。

*2 内蔵パワーアンプが使用されている場合のみ、ピーブ音がありません。

設定を換える

SELを押しながら、希望する数字ボタンを同時に押す。

- 「A.SCRL」: SELボタン + 数字ボタン3
- 「M.DSPL」: SELボタン + 数字ボタン4
- 「BEEP」: SELボタン + 数字ボタン6

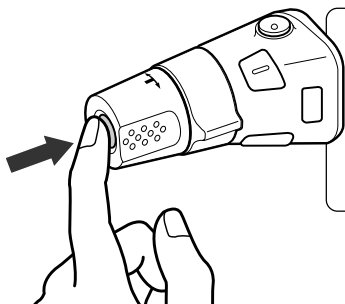
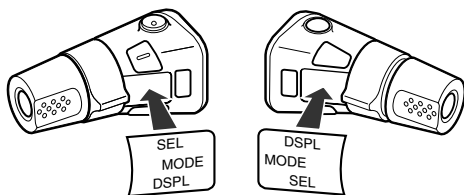
モード設定が完了すると、通常の画面に戻ります。

モード設定を解除するには
SELボタンと数字ボタンを同時に押す。

ロータリーコマンダー(別売り)の操作

ロータリーコマンダーのシールについて

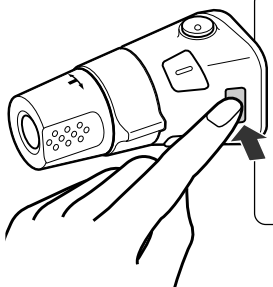
本機には、別売りのロータリーコマンダー(RM-X4S)を接続してお使いになれます。ロータリーコマンダーには、ボタン名称のシールが数枚付属されています。本機には図のシールをお使いください。また、ロータリーコマンダーを取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。



ソース SOURCEボタンを押すと

本機の電源が入り、繰り返し押すとソースが
TUNER CD* MD
と切り換わります。

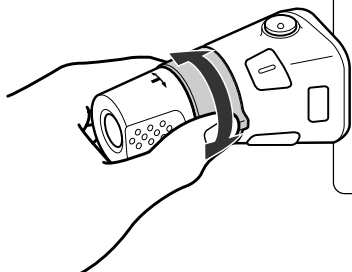
* 別売りの機器を接続時のみ表示します。



モード MODEボタンを押すと

ラジオの時 : FM1 FM2 AM1 AM2 . . .
MDの時 : MD1 MD2* MD3* . . .
CDの時* : CD1* CD2* CD3* . . .
と切り換わります。

* 別売りの機器を接続時のみ表示します。



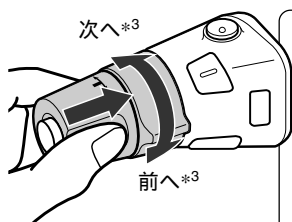
シーク/エーエムエス SEEK/AMSつまみを短く回して離すと

ラジオ... 自動的に放送局を受信する
回し続けると特定の周波数に合わせられます。

MD/CD... 曲の頭出しをする
回し続けると早く送られ、離すと再生に戻ります。

次のページへつづく

ロータリーコマンドー(別売り)の操作(つづき)



ボリューム

VOLつまみを押しながら回すと

FM/AM 登録した放送局を順に受信する

MD/CD ディスクを切り換える*1

グループディスク再生時、VOLつまみを押しながら長めに回すと

MD ディスクをグループごとに切り換える

MP3再生時、VOL^{ボリューム}つまみを押しながら長めに回すと*2

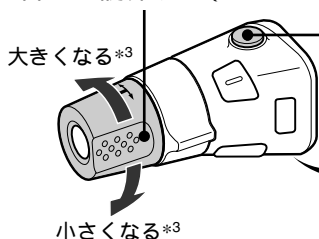
CD (MP3) .. アルバムを切り換える

表示画面は数秒後にもとに戻ります。

*1 別売りのMD/CDチェンジャーが接続されているとき。

*2 別売りのMP3対応CDチェンジャーが接続されているとき。

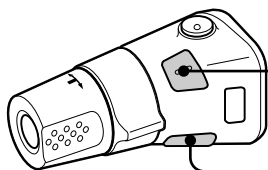
音量を調節する (VOLつまみを回す)



音量を瞬時に下げる (ATTボタンを押す)^{アッテネート}
解除するにはもう一度押すか、VOLつまみで音量を上げます。

電源を切る (OFFボタンを押す)^{オフ}

*3 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した方向になっています。



音量調節・音質選択する (SELボタンを押す)^{セル}
本体のSELボタンと同じ働きをします。

画面表示を変える (DSPLボタンを押す)^{ディスプレイ}
本体のDSPLボタンと同じ働きをします。

つまみの操作方向を切り換える

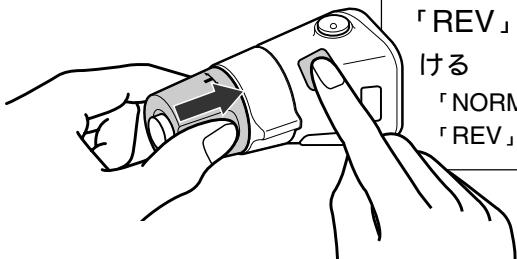
運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。

ボリューム

VOLつまみを押しながら、「NORM」または「REV」が表示されるまでSEL^{セル}ボタンを押し続ける

「NORM」..... 初期設定の回転方向。

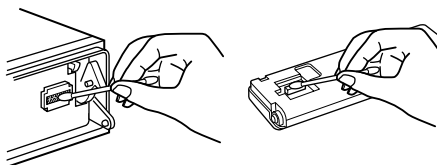
「REV」..... 運転席の右側に取り付けたときの回転方向。



使用上のご注意

本機の取り扱い

コネクターのお手入れについて
フロントパネルおよび本機のコネクターが汚れていると動作不良の原因になります。ときどきクリーニングしてください。



本機側のコネクターを変形させないように注意してください。

液晶表示について

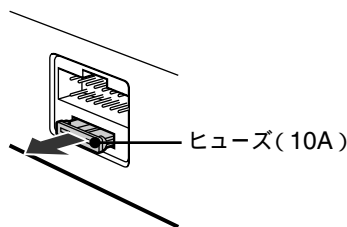
極端な高温または低温のところでは、表示が見づらくなることがありますが、故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、通常表示に戻ります。

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となります。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、MDプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、MDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

表示窓の結露について

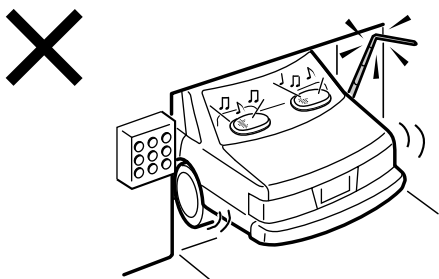
寒いところから暖かいところへ持ち込んだ場合などに、表示窓の内部に露が生じてくることがあります。

このような場合は、しばらく放置しておくことで結露が取り除かれ正常に戻ります。

その他のご注意

アンテナの高さより低い場所(駐車場や洗車機など)へ入るときはラジオを止める

ラジオの受信中はパワーアンテナが自動的に上がります。低い場所へ入るときは、必ずラジオ以外のソースに切り換えるか、OFFボタンを押してアンテナが下がったことを確認してください。



故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">● 音量を上げてください。● ATT機能を解除してください。● スピーカー接続時、スピーカー出力の設定が正しくない。 → 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。● 別売りのMDLP未対応のMDチェンジャー（MDX-65など）で長時間録音のMDを再生している。曲名表示に「LP：_ _ _」と出ている。 別売りのMDLP未対応のMDチェンジャーでは長時間録音のMDは再生できません。（2001年12月現在） → 本機で再生してください。
メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none">● リセットボタンを押した。● バッテリー用電源コードまたはバッテリーを外した。● 電源コードが正しく接続されていない。
共通 ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">● 「ピッ」という音が出ない設定になっている。 → 「ピッ」という音が出る設定にしてください。（36ページ）● 内蔵アンプを使用せず、別売りのアンプを接続した場合は「ピッ」という音は出ません。
なにも表示されない。	<ul style="list-style-type: none">● OFFボタンを押し続けて表示を消した状態になっている。 → もう一度OFFボタンを押し続けて、表示を出してください。● フロントパネルおよび本体のコネクターが汚れている。 → コネクター部をクリーニングする。（40ページ）
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none">● 電源コードが正しく接続されていない。● イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 → SOURCEボタンを押すかディスクを挿入して電源を入れてください。

症状	原因・処置
勝手に「ATT」表示が出て音量が下がる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機のナビ用ATT入力コードとソニー製カーナビシステムのATT出力コードが接続されていると、カーナビシステムの設定により、音声案内中「ATT」表示が出て音量が下がります。 ● 本機のナビ用ATT入力コードの先端部分が車の金属部にショートしている。 → コードの先端部分を絶縁テープ等でショートしないように保護してください。
ノイズが出る。	アンテナコード、バスケープル、RCAピンコードおよび電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、配置してください。
共通 電源がOFFにならない。	イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 → OFFボタンを押し続けてください。
オートアンテナが上らない。	リレー内蔵のオートアンテナに接続していない。
ボタンを押しても動作しない。	リセットボタンを押してください。
ロータリーコマンド（別売り）で操作できない。	ロータリーコマンドの接続コードが本機のリポート入力端子にしっかり接続されていない。または接続コードがはさみ込まれている。
「-----」表示が消えない。	「NAMEEDIT」(名前入力)モードに入った。 → LISTボタンを2秒以上押し続けてください。
MD/CD ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに出てくる。 音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none"> ● すでに別のディスクが入っている。 ● ディスクを誤った向きに入れようとしている。 → ラベル(レーベル)面を上にして入れてください。 ● ディスクが汚れている。 → ディスクをクリーニングしてください。 ● ディスクが傷ついている。 ● 本機の取り付け角度が30°を越えている。 ● 本機またはチェンジャーが正しく固定されていない。 ● MDではごくまれに録音機と本機との互換性により音のとぶことがあります。この場合、録音機のメーカー名と機種名をご確認のうえ、お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。

故障かな?(つづき)

	症状	原因・処置
	MDが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> • 何も録音されていないMDが入っている。 → 録音済みのMDに入れ換えてください。 • 長時間録音されたMDをMDLP未対応のMDチェンジャー (MDX-65など) で再生している。 → 本機で再生してください。
MD/CD	ディスクが自動的にイジェクトされる。	本機の内部温度が50°C以上になった。 → 常温に戻ってから再生してください。
	グループ機能が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> • グループ設定のされていないMDを使用している。 • MDレコーダーによってグループ設定されていない曲を再生している。 • グループ設定されたMDを別売りのMDチェンジャーに挿入して再生している。 → グループ設定されたMDを本機に挿入して再生してください。
	受信できない、雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none"> • パワーアンテナコントロールコード (青色) または、アクセサリ電源 (赤色) を、純正アンテナプースターの電源供給コード (車両側) に接続してください。(リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合のみ。) くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。 • カーアンテナとの接続を確認してください。 • オートアンテナが上がっていない。 → パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。 • 周波数を確認してください。
ラジオ	SEEKボタンを押しても聞きたい放送局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> • 「LOCAL-ON」に設定している場合は電波の強い周波数のみ受信します。 → 「LOCAL-OFF」にしてください (27ページ) 。 • 電波が弱くて自動選局できない。 → SEEKボタンの + または - を押し続けて周波数を合わせてください。
	ステレオ放送が聞きにくい。「ST」表示が点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> • 周波数を確認してください。 • 電波が弱い。 → モノラルモードに設定してください (27ページ) 。 • DSOの設定を「OFF」にしてください (32ページ) 。
サウンド設定	音がでない、または音が小さい。	<p>バランス・フェーダーの調節で特定のスピーカーの音量が小さくなった。 → 「音のバランスを設定する (35ページ) 」で調節してください。</p>

エラー表示

本機やCD/MD機器が誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
BLANK	MDに何も録音されていない。	ほかのMDに入れ換える。
	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
ERROR	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	ディスクが何らかの原因で再生しない。	ほかのディスクに入れ換える。
FAILURE	スピーカーやアンプの接続が正しくない。	接続を確認するため、取付説明書を見る。
HI TEMP	周囲の温度が50°C以上になった。	50°C以下に下がってから再生する。
NO DISC	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO MAG	CD機器にディスクマガジンが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CD機器に入れる。
NO MUSIC	MP3対応CD機器に音楽ファイル以外のデータが記録されたディスクが入っている。	音楽データの記録されたディスクを入れる。
NOTREADY	MDチェンジャーのフタが開いている。あるいはディスクが正しく入っていない。	ディスクを正しく入れ直し、フタを閉める。
	内部に故障があるかもしれない。	接続を確認する。 ディスプレイにエラー表示が残ったままだったら、お近くのソニーサービス窓口を持ち込む。
OFFSET		
RESET	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

保証書とアフターサービス

保証書(別に添付)

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな?」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口(別紙)にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

MDプレーヤー部

SN比	90dB
周波数特性	10～20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

チューナー部

FM

受信周波数	76～90MHz (テレビ1～3ch)
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	9dBf
周波数特性	30～15,000Hz
実効選択度	75dB(400kHz)
SN比	67dB(ステレオ) 69dB(モノラル)
ひずみ率(1kHz)	0.5%(ステレオ) 0.3%(モノラル)

AM

受信周波数	522～1,629kHz
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	30 μ V

アンプ部

適合インピーダンス	4～8
最大出力	50W \times 4(4 負荷1kHz)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
出力端子	フロント音声出力端子、 リア音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子、 リモートコントロール入力端子、 FM/AMアンテナ入力端子 (Jaso用) ATT入力端子(ナビ用)
トーンコントロール	低音： \pm 10dB(60Hz) (XPLOD) 中音： \pm 10dB(1kHz) (XPLOD) 高音： \pm 10dB(10kHz) (XPLOD)
本体寸法	約178 \times 50 \times 180mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約182 \times 53 \times 161mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約1.2kg
付属品	取り付け/接続部品(一式) 取扱説明書(一式) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1) ケース(1)

主な仕様 (つづき)

別売品	カードリモコン RM-X114 (1) (リチウム電池 (1) を含む)
	CDチェンジャー (10枚) CDX-757MXなど
	MDチェンジャー (6枚) MDX-66XLPなど
	MG-MSシステムアップ プレーヤー MGS-X1
	DVD チェンジャー DVX-100S
	パワーアンプ XM-405EQXなど
	ソースセクター XA-C30
	外部入力セクター XA-300
	ロータリーコマンダー RM-X4S
	バスケーブル (RCAピンコード 付属) RC-61 (1m)、 RC-62 (2m)
	バス延長コード RC-U305 (0.5m)
	RCAピンコード RC-64 (2m)、 RC-65 (5m)
	電源コード RC-39

ご注意

本機には別売りのデジタルリアンプやイコライザーは接続できません。

本機は、「ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品」です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

五十音順

ア行

イコライザー	33 ~ 34
エラー表示	45
オートスクロール	20
音量	11

カ行

カスタムファイル	23、25
----------------	-------

サ行

スクロール	19
ステーションメモ	29 ~ 30
シャッフル	22
ステレオ放送	27
スピーカーバランス	35

タ行

ディスクメモ	23 ~ 24
登録	
自動登録	26
放送局	26、27
時計	15

ナ行

名前

消去する	24、30
つける	23、29
表示する ..	19、25、27、31

ハ行

バランス	35
ヒューズ	40
表示窓	
CD/MD	16、19
ラジオ	27
フロントパネル	9
ベストチューニングメモリー (BTM)	26
ボタンの音	36

マ行

モノラル	27
------------	----

ラ、ワ行


ラジオ	11、26 ~ 31
自動選局	27
登録	26、28
名前で探す	31
名前をつける	29
リスト	25、31
リセット	8
リピート	21
リモコン	
カードリモコン	14
ロータリーコマンドー	37 ~ 39

商品の修理、お取り扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「長くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*.....  0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は*..... 03-5448-3311

(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

● FAX..... 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし、内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

- 1：修理受付
- 2：使用方法や故障と思われるご相談
- 3：お買物相談
- 4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
- 5：その他のご相談

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35



- 主なはんだ付けに無鉛はんだを使用しています。
- キャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません。
- 主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません。
- 包装用緩衝材に紙材料を使用しています。

<http://www.sony.co.jp/>

Sony Corporation Printed in Thailand